

浮世絵は、幕末からがおもしろい。

特別展

幕末明治の浮世絵百年

歌川国芳  
《御奥の彈初》(部分)  
嘉永2~4年頃



# 大江戸の賑わい

月岡芳年  
《風俗三十二相 遊歩がしたさう  
明治年間妻君之風俗》(部分)  
明治21年

2025  
10 / fri 31 → 12 / sun 14

東大阪市民美術センター 第1・2・3展示室

開館時間 10:00~17:00 (入場は閉館時間の30分前まで)

休館日 月曜日 (月曜日が祝日の場合は、翌平日が休館日)

観覧料 一般:500円

※東大阪市内在住65歳以上の方、高校生以下、  
障がい者手帳等をお持ちの方 (介助者1名を含む) は無料

主催 東大阪市民美術センター (指定管理者 東大阪花園活性化  
マネジメント共同体 HOS株式会社)

監修 中右瑛 (国際浮世絵学会常任理事)

企画協力 E.M.I.ネットワーク

三代歌川豊国  
《大星由良之助》(部分)  
安政6年



# 浮世絵は、幕末からがおもしろい。

江戸時代初期の17世紀後半に墨摺絵(すみずりえ)という単色摺木版画として生まれた浮世絵は、江戸中期に錦絵(にしきえ)と呼ばれる多色摺木版画の登場によって市井に広まり、庶民に親しまれるようになりました。その後、1867年のパリ万博で紹介されたことをきっかけに海外での人気が高まり、ゴッホやモネなど印象派をはじめとする芸術家にも影響を与え、ジャポニズムを牽引しました。当時の浮世絵は美術品ではなく、江戸の人々は東海道五十三次などの名所絵を見ては旅行気分になり、武者絵を見ては歴史や伝説のドラマチックな展開にドキドキし、美人画や役者絵を人気の遊女や歌舞伎役者のプロマイドとして買い集めて楽しみました。現在のようにテレビやインターネットがないこの時代の人々にとって、浮世絵は当時の風俗や流行などの情報を得るための貴重なツールであり、さらに幕末から明治には、文明開化で洋風化する街並みや建築、風俗を人々に伝えるものでした。本展では、広重や北斎の風景画、豊国の美人画をはじめ、国貞や国芳による役者絵や武者絵から清親の光線画まで、町人文化が栄えた江戸後期から文明開化に沸く明治前期までの約100年間に描かれた浮世絵を紹介し、科学が進歩してもまねができない絵師たちの豊かなイマジネーションと高い技術で生み出された、バラエティー豊かな浮世絵をお楽しみください。



歌川豊国  
(今やう娘七小町  
関寺小まち)(部分)  
文化15年頃



葛飾北斎(雪月花 吉野)天保3年



小林清親(日本橋夜)明治14年



歌川国芳(浅倉当吾亡霊)嘉永4年頃



歌川豊国(アメリカ人コドモチョウアイツ)文久元年

## 関連イベント

### ■講演会「幕末明治の浮世絵の楽しみ方」

11月24日(月・祝) 14:00~15:30

講師: 浅野秀剛(あべのハルカス美術館・大和文華館館長、国際浮世絵学会会長)

会場: 東大阪市民美術センター 特別室

参加費: 500円※申込不要

### ■ワークショップ「たてばんこで浮世絵をあそぼう」

無地の浮世絵に色を塗り、人物や背景を切ってポップアップさせます。

11月9日(日) ①10:00~12:00 ②14:00~16:00

会場: 東大阪市民美術センター 会議室

定員: 各回10名

参加費: 500円(材料費)

※事前申込制: 専用フォーム(参加者全員の氏名、年齢(学年)、住所、

電話番号記載)にて申し込み、申し込み1件につき4人まで。

応募多数の場合は抽選。【締切】10月26日(日)



専用フォーム

### ■学芸員によるギャラリートーク

11月3日(月・祝) 14:00~15:00

会場: 東大阪市民美術センター 第1・2・3展示室

参加費: 無料(要観覧料)※申込不要



歌川国芳(御奥の弾初)嘉永2~4年頃

# 東大阪市民美術センター

指定管理者: 東大阪花園活性化マネジメント共同体HOS株式会社 〒578-0924 東大阪市吉田6-7-22

TEL.072-964-1313 HP: <https://hos-higashiosaka-art.com/>  
Instagram: <https://www.instagram.com/ham1313art/>

近鉄奈良線「東花園」駅より北へ約500m(東大阪市花園ラグビー場南側)

この事業は、「東大阪市第3次文化政策ビジョン: ②文化施設の公共的役割の徹底(東大阪市文化芸術振興条例第8条)」に基づき実施しています。

